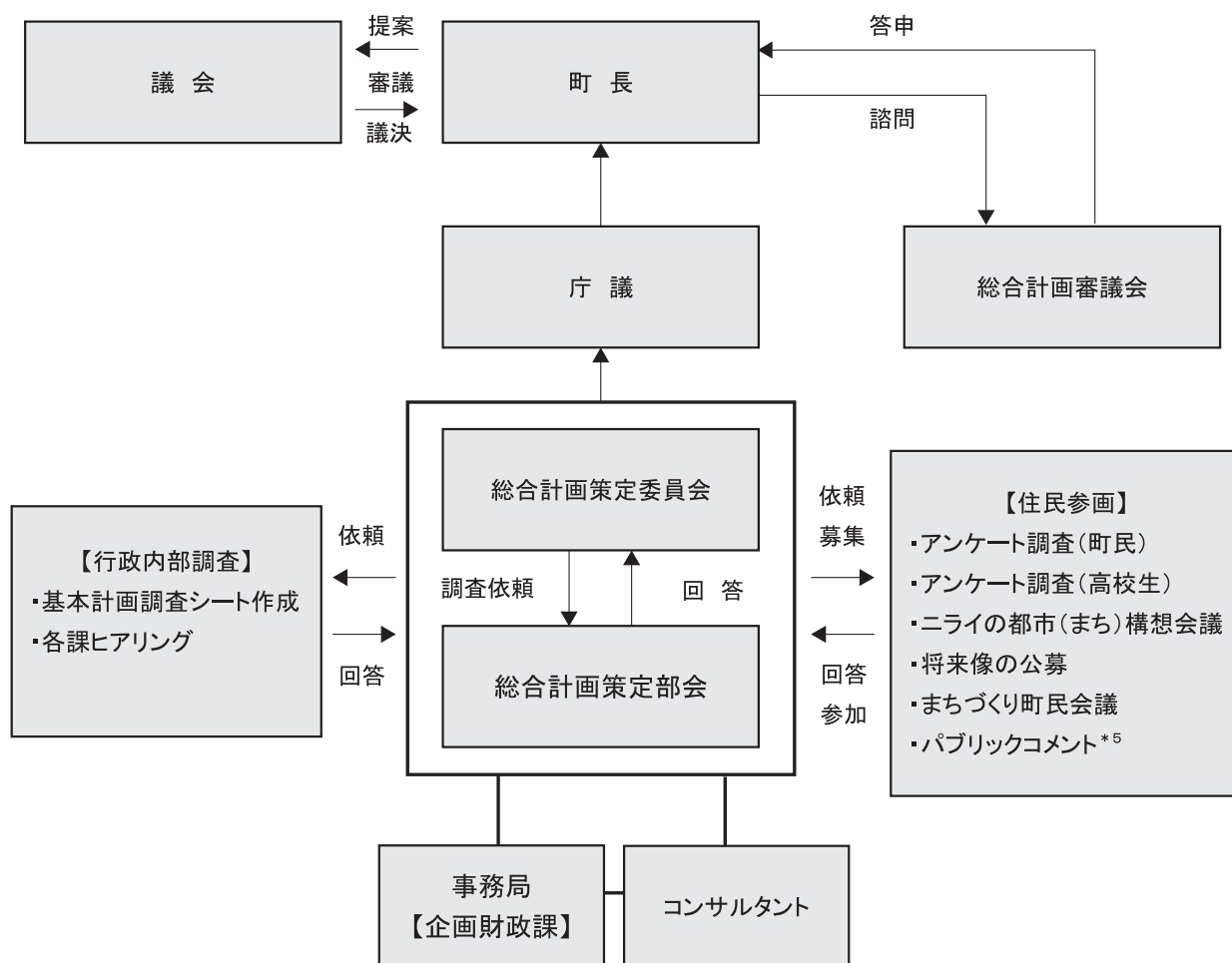


資料編

1 第六次北谷町総合計画策定の経緯

期日	内容
2019年8月26日	北谷町総合計画策定部会（総合計画策定のトレンド・評価について）
2019年8月26日～9月30日	総合計画達成状況調査シートの作成依頼
2019年11月13日～11月15日	総合計画達成状況調査シート 各課ヒアリング
2020年3月20日	第五次北谷町総合計画 中間評価報告書 とりまとめ
2020年5月～6月	北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート調査（町民）
2020年5月～6月	北谷町の未来を考えるまちづくりアンケート調査（高校生）
2020年7月10日～19日	北谷町ニライの都市（まち）構想会議（全11行政区）
2020年8月17日～9月30日	将来像の公募
2020年8月24日	第1回北谷町総合計画策定委員会
2020年10月26日～11月13日	まちづくり町民会議（5回開催）
2020年12月7日	基本構想骨子検討（案）作成
2020年12月21日	第2回北谷町総合計画策定委員会
2020年12月25日	第1回北谷町総合計画策定部会
2021年1月19日	第2回北谷町総合計画策定部会
2021年2月1日	基本構想検討（案）作成
2021年1月19日～2月12日	第六次総合計画前期基本計画調査シートの作成依頼
2021年2月5日	第3回北谷町総合計画策定部会
2021年2月22日	第3回北谷町総合計画策定委員会
2021年2月22日～3月1日	関係各課ヒアリング
2021年2月24日	第4回北谷町総合計画策定委員会
2021年3月19日	前期基本計画 検討（案）作成
2021年3月31日～4月7日	第六次総合計画前期基本計画（素案）の内容確認（依頼）1回目
2021年4月14日	第5回北谷町総合計画策定委員会
2021年4月15日	第6回北谷町総合計画策定委員会
2021年4月19日～4月23日	第六次総合計画前期基本計画（素案）の内容確認（依頼）2回目
2021年4月26日	第1回北谷町総合計画審議会（総合計画審議会への諮問）
2021年5月12日	第2回北谷町総合計画審議会
2021年5月18日	第3回北谷町総合計画審議会
2021年6月1日～6月30日	パブリックコメント* ⁵ の実施
2021年6月3日	第4回北谷町総合計画審議会
2021年6月30日	第5回北谷町総合計画審議会
2021年7月13日	第7回北谷町総合計画策定委員会
2021年7月16日	第6回北谷町総合計画審議会
2021年7月19日	総合計画審議会からの答申
2021年7月20日	第8回北谷町総合計画策定委員会
2021年8月3日	庁議（基本構想・前期基本計画）
2021年8月5日	庁議決定（基本構想）
2022年3月11日	庁議決定（前期基本計画）

2 第六次北谷町総合計画 策定体制図



総合計画策定委員会【北谷町総合計画策定委員会設置規程】

副町長及び町職員を委員とし、15名以内で構成。副町長を委員長とする。
北谷町総合計画に関する事項について協議する。

総合計画策定部会【北谷町総合計画策定委員会設置規程】

町職員のから委員長（副町長）が指名、町長が任命する。
専門的事項を調査研究させる。

北谷町総合計画審議会【北谷町総合計画条例】

町長の諮問に応じて調査・審議する。

議会【北谷町総合計画条例】

基本構想の策定又は変更するときに審査を行う。

3 北谷町総合計画条例

平成25年3月28日

条例第8号

(目的)

第1条 この条例は、総合的かつ計画的な町政の運営を図るため、総合計画の構成及び位置付け並びに策定方針を明らかにし、総合計画の策定等に関し必要な事項を定めることにより、北谷町（以下「町」という。）のまちづくりのための基本的な施策を着実に推進することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号の定めるところによる。

- (1) 総合計画 町の将来の長期的な展望の下に、町政のあらゆる分野を対象とした総合的かつ計画的なまちづくりの指針をいう。
- (2) 基本構想 町のまちづくりの基本的な理念であり、町の目指す新しい将来像及びまちづくりの目標を示すものをいう。
- (3) 基本計画 町のまちづくりの基本的な計画であり、基本構想における将来像及びまちづくりの目標を踏まえた施策の基本的方向及び体系を示すものをいう。

(構成及び位置付け)

第3条 総合計画は、基本構想及び基本計画で構成する。

- 2 総合計画は、町の最上位の計画とし、町が別に策定する個別の行政分野に関する計画の策定又は変更に当たっては、総合計画との整合を図らなければならない。

(策定方針)

第4条 総合計画は、町の最上位の計画としての位置付けを踏まえ、総合的見地から策定されなければならない。

- 2 総合計画は、適切な計画期間を設定し、地域の実情、社会経済情勢の変化等を踏まえ、これらに適合するように策定されなければならない。
- 3 総合計画は、町民の意見を十分に反映させるための必要な措置を講じた上で、町民との協働によって策定されなければならない。
- 4 前3項の規定は、総合計画の変更について準用する。

(北谷町総合計画審議会)

第5条 町長は、総合計画の策定又は変更に当たっては、あらかじめ、附属機関（地方自治法（昭和22年法律第67号）第138条の4第3項の規定により設置する町長の附属機関をいう。）に諮問するものとする。

- 2 前項の規定による諮問に応じて調査し、及び審議するため、北谷町総合計画審議会（以下「審議会」という。）を置く。
- 3 審議会の組織及び運営に関し必要な事項は、規則で定める。

(議会の議決)

第6条 町長は、基本構想を策定し、又は変更しようとするときは、議会の議決を経なければならない。

(公表)

第7条 町長は、総合計画を策定し、又は変更したときは、速やかにこれを公表するものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行の際、現に北谷町総合計画審議会の委員である者は、この条例の規定により委嘱されたものとみなし、その任期は改正前の北谷町附属機関設置条例（平成20年北谷町条例第22号）等の規定による任期の残任期間とする。

4 北谷町総合計画審議会規則

平成20年12月24日

規則第25号

改正 平成25年3月29日規則第24号

(趣旨)

第1条 この規則は、北谷町総合計画条例（平成25年北谷町条例第8号）第5条第3項の規定に基づき、北谷町総合計画審議会（以下「審議会」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 審議会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) その他町長が適当と認める者

(任期)

第3条 委員の任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は審議会の会務を総理し、審議会を代表する。
- 4 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

- 2 審議会は、委員の定数の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、総務部企画財政課において処理する。

(補則)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営について必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成21年1月1日から施行する。

附 則（平成25年規則第24号）

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

5 北谷町総合計画策定委員会設置規程

平成2年7月1日

訓令第17号

改正 平成6年3月28日訓令第6号

平成19年3月30日訓令第7号

平成23年7月25日訓令第16号

(目的)

第1条 この規程は、北谷町総合計画の策定事務を円滑に推進するため、北谷町総合計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その運営に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、北谷町総合計画に関する事項について協議する。

(組織)

第3条 委員会は、委員15人以内で組織する。

2 委員は、副町長並びに町職員のうちから町長が任命する。

3 委員会に委員長を置き、委員長は、副町長をもって充てる。

(総合計画策定部会)

第4条 委員会に専門的事項を調査研究させるため、総合計画策定部会（以下「策定部会」という。）を置く。

2 策定部会の委員は、町職員のうちから委員長が指名し、町長が任命する。

3 策定部会に、部会長を置く。部会長は策定部会の委員のうちから互選により定める。

4 部会長は、策定部会を招集し、会議の議長となる。

5 部会長が必要と認めたときは、関係職員を策定部会に出席させることができる。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第6条 委員会は、必要に応じ委員長が招集し、委員長が議長となる。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、企画財政課において処理する。

(補則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この訓令は、平成2年7月1日から施行する。

附 則（平成6年訓令第6号）抄

(施行期日)

1 この訓令は、平成6年4月1日から施行する。

附 則（平成19年訓令第7号）

この訓令は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成23年訓令第16号）

この訓令は、公表の日から施行する。

6 北谷町総合計画審議会委員

役職	氏名	団体名及び役職名簿	任期
会長	下地 芳郎	一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
副会長	照屋 津年武	北谷町社会福祉協議会 副会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	米須 義明	北谷町商工会 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	玉城 清松	北谷町老人クラブ連合会 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	仲宗根 仁志	自治会長連絡協議会 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	照屋 英雄	公益社団法人北谷町シルバー人材センター 理事長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	喜友名 朝孝	北谷町軍用地等地主会 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	屋比久 里美	一般社団法人北谷町観光協会 会長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	池添 昭二	沖縄振興開発金融公庫 融資第一部 地域振興班 課長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	大城 浩	一般社団法人 沖縄の英語教育を考える会 代表理事	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	栗国 哲男	北谷町社会教育委員会議 議長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	竹内 優志	株式会社 あい総合研究所 代表取締役	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	池原 稔	株式会社 クレスト 代表取締役社長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日
委員	岡野 みゆき	(公財) 沖縄県労働者福祉基金協会 事務局長	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日

7 北谷町総合計画策定委員会委員

役職	氏名	職名	任期
委員長	神山正勝	副町長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	岸本満	総務部長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	知念喜忠	住民福祉部長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	根間朝弘	建設経済部長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	玉那覇修	教育部長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	佐久本盛正	上下水道部長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	兼城泰志	総務課長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	田仲康児	都市計画課長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	花城可津人	福祉課長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日
委員	西田由紀	教育総務課長	令和2年5月1日～ 令和4年3月31日

8 北谷町総合計画策定部会委員

部会	まちづくりの目標	課名	職名	氏名	
第Ⅰ部会	子育て・教育・文化・スポーツ	1	子ども家庭課	子育て支援係長	鈴木典子
		2	子ども家庭課	こども園係長	知念綾乃
		3	教育総務課	総務係長	滝沢大輔
		4	教育総務課	施設係長	與那覇絵美
		5	学校教育課	学務係長	嘉陽田かおり
		6	学校教育課	指導係長	宮城亜矢
		7	社会教育課	社会教育係長	平安崇
		8	社会教育課	社会体育係長	田崎綾乃
		9	文化課	文化課長兼文化財係長	古謝哲郎
		10	文化課	博物館・史跡担当技幹兼博物館係長	勢理客一之
		11	生涯学習プラザ	学習振興係長	比嘉みゆき
		12	生涯学習プラザ	文化事業係長	伊佐実千代
		13	町立図書館	主任司書	前村由香
		14	学校給食センター	所長兼学校給食係長	池原誠
第Ⅱ部会	産業（商工業・観光業・漁業・農業）	15	観光課	観光係長	上地勝樹
		16	経済振興課	商工労働係長	米須健
		17	経済振興課	農林水産係長	伊波祐
第Ⅲ部会	都市基盤・環境・防災・交通安全など	18	都市計画課	計画係長	櫻井香
		19	土木課	道路係長	比嘉伸吾
		20	土木課	公園係長	渡眞利幸樹
		21	保健衛生課	環境衛生係長	伊禮保
		22	基地・安全対策課	住民安全係長（兼任）	渡名喜俊介
		23	企画財政課	跡地利用担当技幹兼跡地利用推進係長	仲村卓郎
		24	上下水道課	経理係長	比嘉ゆかり
		25	上下水道課	水道施設係長	島袋辰也
		26	上下水道課	下水道係長	石川諭史

部会	まちづくりの目標	課名		職名	氏名
第Ⅳ部会	福祉（健康・地域福祉・障害福祉・高齢者福祉・社会保障制度）	27	福祉課	地域福祉係長	座間味 千 草
		28	福祉課	障害福祉係長	與那原 誠 子
		29	福祉課	高齢者福祉係長	高 原 充 江
		30	住民課	国民年金担当主査	石 原 真 樹
		31	保健衛生課	国民健康保険係長	仲村渠 綾 子
		32	保健衛生課	健康係長	大 城 トモ子
第Ⅴ部会	平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営	33	町長室	秘書広報係長	大 城 朝 乃
		34	基地・安全対策課	住民安全係長（兼任）	渡名喜 俊 介
		35	総務課	行政係長	前 原 さゆり
		36	総務課	人事係長	崎 原 航
		37	企画財政課	財政係長	仲宗根 清 雄
		38	企画財政課	管財係長	當 山 貴 巳
		39	情報政策課	情報政策係長	宮 原 義 幸
		40	税務課	納税係長	平 良 真之介

9 北谷町まちづくり町民会議参加者

部会	まちづくりの目標	氏名
第Ⅰ部会	子育て・教育・文化・スポーツ	池宮城 秀 聡
		玉 城 友紀乃
		関 勝 文
		喜友名 祥 子
		渡名喜 守 勇
第Ⅱ部会	産業（商工業・観光業・漁業・農業）	我 謝 真亜久
		島 袋 瑠 偉
		永 井 良 太
		澤 田 敬 紀
		仲 村 剛
第Ⅲ部会	都市基盤・環境・防災・交通安全など	加 藤 信 行
		宮 城 妃 咲
		真栄城 兼 秀
		祖 堅 吾 央
		山 中 亮
第Ⅳ部会	福祉（健康・地域福祉・障害福祉・高齢者福祉・社会保障制度）	宮 城 恵
		神 村 みどり
		喜舎場 加代子
		田 中 由 美
		仲 里 亮
第Ⅴ部会	平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営	仲 村 卓江子
		池 谷 達
		清 水 早 苗
		島 袋 艶 子
		與 儀 彩 佳

10 諮問

北企3第749号
令和3年4月26日

北谷町総合計画審議会 会長 様

北谷町長 野国 昌春

第六次北谷町総合計画・基本構想・前期基本計画（案）について（諮問）

北谷町総合計画条例第5条第1項の規定に基づき、第六次北谷町総合計画（案）について、貴審議会の意見を求めます。

11 答申

令和3年7月19日

北谷町長 野国 昌春 様

北谷町総合計画審議会
会長 下地 芳郎

第六次北谷町総合計画基本構想・前期基本計画について（答申）

令和3年4月26日付け北企3第749号で諮問のあった第六次北谷町総合計画 基本構想・前期基本計画（案）について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、適切であるとの結論に達しましたので、答申いたします。

また、町の将来像「一人からはじまる 広がる 大きな輪 みんなで育む北谷町」の実現に向けて、留意すべき事項を下記のとおり申し添えます。

記

1 総括意見

- ・新型コロナウイルス感染症*¹の影響により国・県・市町村の財源は苦しい状況に陥ることが予想されます。そのような中で、町が取り組む事業について漠然とした事業の執行だけでは町民の理解は得られません。しっかりと結果を数値で示すことが強く求められているということに留意してください。
- ・新型コロナウイルス感染症*¹の感染拡大を踏まえて、デジタル化の推進という部分を北谷町のこの10年の計画の中にどう盛り込んでいくのか十分に留意してください。

2 個別意見

【基本目標1 笑顔でふれあい 多文化を認め合う 平和を愛するまち】

- ・基地問題への対応として、米軍人が事件・事故を起こした際に効果的な抗議活動をするためには、語学力が非常に重要であることから、語学力に長けた職員の配置を行うべきである。
- ・次代を担う青年会の再生を図る取組を進めていただきたい。
- ・来年、世界のウチナーンチュ大会が予定されており、今年から来年にかけて様々な取組が考えられる。

【基本目標2 多様性と共に新しい今を創造するまち】

- ・観光客に関する安全確保体制の整備については、台風、地震、津波等のほか、防犯面にも配慮いただきたい。
- ・観光に対する目的をどこに置くのか、地元にしっかりとお金が落ちるように考えていただきたい。
- ・観光に対する負の効用（オーバーツーリズム*¹⁹）についても考えていただきたい。
- ・新たな特産品の開発について言及していただきたい。北谷町は製造業が少ない。製造業を育成させるためにも重点的な施策が必要である。

- ・製造業の発展は、コミュニケーションに課題のある方も黙々と作業をこなすという面で職業能力を発揮する方がたくさんいる。
- ・特産品を開発するにあたっては、必ず原材料が必要である。その中で、北谷町には農業が無い、そして漁獲量も少ない。その問題をクリアするために農・水産業が一体となった特産品開発が必要である。
- ・北谷町では農業は確かに少ないけれども、北谷町の東部側にどこか活かせる土地があると思う。大きなものでなくても、植物工場で北谷ブランドを作り上げるという取組も考えてみてはどうか。水産業でも養殖など、やれないことはないと考えている。農業、漁業は諦めがちな環境ではあるが、切って捨てるものではない。
- ・沖縄は最低賃金が低いということもあり、県民の所得が、他府県に比べて低い状況にある。このことから、起業する方が他府県に比べてかなり多くなっている。ただし、残念ながら廃業率もかなり高い。商工会等で学びの場が提供されているので、そこにつなげるなど起業家への支援も重要である。

【基本目標3 あなたは北谷の宝です】

- ・商工会との連携による特定検診受診率向上対策について取組を検討していただきたい。
- ・成果連動型民間委託契約方式について、全国的に導入事例が増えている。このような新しい取組についても検討していただきたい。
- ・今後も高齢化が進行する中であって、生活支援コーディネーターの数が足りなくなることが想定される。増員するための補助金の増額についても検討していただきたい。
- ・福祉の相談業務を進めるにあたっては、行政の縦割りを排除し、横の連携体制を構築していただきたい。
- ・シルバー人材センターについて、いくつになっても就業が続けられるような年齢や体力に応じた職業のあり方について検討しながら、高齢者の生きがいの維持、体力低下による引きこもりや認知症予防等に取り組む必要がある。

【基本目標4 まじゅん 未来につなぐ エコ美らタウン】

- ・東部地域に関しては、土地、建物の所有者が異なることが多く建て替えが出来ない。インフラが整っておらず、駐車場もない。県道24号線を歩く子ども達は車道を歩いている。インフラ整備が進まなければ東部地域の人口は減少の一途を辿ることが想定されます。東部地域の開発は北谷町の発展に重要となると思われます。
- ・住宅の取引市場で、宅地がかなり小口化している。昔は150㎡あったものが、かなり小さくなっている。狭小住宅があまりにも多くなると、人口が密集してしまい、結果として、消防活動などに支障が出てくるのが考えられる。適切な地区計画^{*121}の設定等を行い、敷地面積の最低限度を求めていくことが大事となってくる。
- ・町が保有する公有財産等を活用した新たな収入の確保、公民連携手法を利用した公園のPARK-PFIなどを総合計画に盛り込むことで、オーソライズされて、今後、活用しやすくなるのではないかと。
- ・IoT^{*12}を活用した駐車場の満空情報が表示されることで、渋滞緩和につながると考えられる。また、車を使わずに歩けるまちづくりをどうするか議論すべきである。
- ・住宅用火災警報器の補助などの取組を検討できないか。予防は消防という言い方もあるので、目を向けるべきである。

- ・来訪者も滞在中は、住民の一人であるという意識で、お互いで助け合うための取組が必要である。地域防災計画の見直しとともに観光危機管理計画について、早期に策定すべきである。

【基本目標5 たのしく ゆたかに たくましく 生きる】

- ・登校拒否をしている子ども達にデジタル技術を使って、学習をさせるなどの取組も検討していただきたい。
- ・若年者出産や周りに頼れる人がいない家庭などでは虐待リスクが高まることから、切れ目のない相談体制の確保が重要である。
- ・就労困難者や引きこもりの中には発達障害の特性があるためにコミュニケーションがうまく取れず、徐々に社会から孤立する方が多い。
- ・一方で、発達障害だけでなく、発達上の支援を要する子に関しては、子どもの頃から適切な発達支援を受けることで、より良い成長へつなぐると同時に二次障害を防ぐ効果が期待される。そのためにも、当事者への支援の充実と、家族を含む周りの大人の理解、対応訓練が必要となる。
- ・子どもの貧困^{*21}問題の要因は親の貧困が原因であり、家庭全体の支援が必要なケースが多い。行政の部署間の縦割りをなくし、上がってきた情報を共有し、複合的な課題解決に向けて、生活～就労まで一体的な支援を行う体制づくりが必要である。
- ・貧困家庭では、放課後の居場所がない子も多いため、子どもが安心して楽しく過ごせる場（貧困の子は有料の学童などには行けない現状がある）、家庭に課題のある子の保育園優先入所、課題の複雑化に応じたファミリーサポートセンターの利用助成、養育支援事業へのつなぎなどの連携の充実を図ることも重要である。
- ・子どもの貧困^{*21}を繰り返さないためには、自己肯定感の醸成や周りの人との温かいふれあい、モデルになる大人の存在、教育が重要となる。
- ・子どもたちが地域の宝として、安全・安心な環境で、色々な経験を通して学び・遊ぶことで自分の強みを発見し、自分の将来に希望を持てる環境をつくっていくことが重要となる。
- ・「進路なき卒業」により社会との接点を失い、ニートや引きこもり状態に陥るケースが考えられるため、進路未決定者の現状把握と対応策について検討を進められたい。
- ・町独自の学力対策として、持続可能な開発目標などの社会的課題や包摂的に物事を考えるプログラミング的思考などを取り入れてみてはどうか。
- ・生涯スポーツ^{*44}の視点とスポーツ・コンベンションという視点、産業としてのスポーツをどうみていくのか。大きな流れに対応されたい。

【5つの基本目標を実現するために 協働のまちづくりと行財政運営】

- ・公共サイドもデジタル化に取り組むことによって、先進的な取組をされている企業が北谷町に進出するきっかけにもなり得る。
- ・新型コロナウイルス感染症^{*1}の影響によりどこの企業もデジタル化が必須だという話になっている。そのような中、公共がいつまでも申請等紙ベースで提出しなさいではよろしくない。公共サイドもデジタル化の取組を進めていただきたい。
- ・社会問題は多様化しており、行政だけではどうしても解決できない問題が生じることが想定される。この問題について民間のビジネス（ソーシャルビジネス^{*153}）で解決することも必要である。
- ・北谷町の場合、東側と西側に分断されているような気がする。町民みんなで何かをやるという祭りに

関しても西側と東側が一体でできるような仕掛けが必要。北谷の歴史、文化を観光、祭りに入れることができれば、もっと一体感が生まれるのではないか。

- ・ 公民館主事*¹⁵⁴の資質向上のため、あるいは講座内容の充実を図る取組を進めていただきたい。
- ・ 色々なデータをオープンデータとして公開することで、民間の力をうまく使うという観点も重要になってくる。
- ・ 社会資本の適切な維持管理は、特に大事なことで戦略的に行う必要がある。ただし、今後は、それに加えて、効率的に維持・管理しやすい建物の仕様にしていくことが大事となる。

12 ニライの都市（まち）構想会議意見・提言等

北谷町のこれまでの取組についての情報共有と北谷町のまちづくりに関する意見交換、北谷町の将来のあり方についてニーズを把握することを目的に実施しました。

●実施日

実施日	会場
令和2年7月10日（金）10時～	謝荊区公民館
令和2年7月10日（金）18時～	上勢区公民館
令和2年7月11日（土）10時～	桃原区公民館
令和2年7月11日（土）14時～	栄口区公民館
令和2年7月11日（土）18時～	桑江区公民館
令和2年7月12日（日）14時～	北玉区公民館
令和2年7月18日（土）10時～	北前区公民館
令和2年7月18日（土）14時～	宮城区公民館
令和2年7月18日（土）18時～	砂辺区公民館
令和2年7月19日（日）10時～	宇地原区公民館
令和2年7月19日（日）14時～	美浜区公民館

※コロナ禍の中で、参加人数の制限をして会議を行いました。全会場で143名の参加がありました。

●会議意見・提言等要旨

平和・男女共同参画
男女共同参画について“ジェンダー平等 ^{*49} ”の取組（見えるように）が必要。
小学生から中学生まで、学年に応じた平和学習プログラムを学校で学ぶことはできないか。9年間ステップアップする形。
外国人住民が多いが、マナーが悪いので行政としてしっかり対応して欲しい。
産業・経済・跡地利用
シーポートカーニバルは、町民が楽しめる、地域を育てる場づくりが必要である。イベント企画等は専門人材の育成・活用をして欲しい。
軽便鉄道、遺跡などをルート化し、文化マップを作り文化を発信する（体験できる）観光振興を進めて欲しい。
宮城区には、民泊が増えており、将来はもっと増えると思われる。条例等により規制が必要になると思う。
テレワーク ^{*15} 等が出来る職種の誘致にも力を入れ、観光と2本柱で経済の活性化を進めてはどうか。
観光以外の産業の創出が必要。
町内では仕事が限られてくるという声が聞こえる。大きな建物が出来てもリゾート用になっている。
ポストコロナ時代における商工業との前向きなタイアップをしてもらいたい。

健康・子育て・福祉
各公民館に学びの場を作るなり、それぞれの地域で子ども達の成長を見守れたら良い。
子ども達の居場所づくりが必要。 ダンス・ゲームなどを楽しめる場所、お年寄りと子どものコミュニティ空間は出来ないか。
人と人とのつながりが希薄になっていると感じる。子どもから高齢者までが「つながる」取組も子どもの貧困 ^{*21} 対策には良いと思う。
子どもの貧困 ^{*21} を無くすために親の経済的な自立が必要。町として独自に支援はできないか。
高齢者が遠出しなくても生活必需品が購入できる場所が必要。
水道メーターを活用した高齢者の見守りなどが出来たらいい。
街づくり・防災・防犯
東部地域では建替えの出来ない住宅が多い。また、道路の幅員も狭く緊急車両も通れない。 道路整備を実施して欲しい。
北谷町は、住みたいけれど、住めない町と言われる。賃貸物件もせまいのに高い。そもそも土地もない。 運が良くないと住めない。
若い方が住みやすい環境を作ってもらいたい。家賃、土地価格など、現状では高収入の方しか住めない。 町内出身者が町内に住めるような補助や施策が必要
地域の特色を活かした開発を行って欲しい。役場周辺はしっばいだと思う。
東部地域は開発から置き去りにされているのでは。
東部地区の振興を図る。美浜地区だけでなく他地区へも目を向けて生活の質の向上を図って欲しい。
観光客向けの商業施設、居住施設が多く、小さい頃から過ごしている北谷がどんどん変わっていき住みにくい。もう少し地元住民を大切にしたい町づくりを考えて欲しい。
東側の部分は、金融機関がなくなってしまう不便を感じている。住民を大切に全体で企画づくりをして欲しい。たとえば、イオンに行ってもすべて観光客向けになっている。
北前から砂辺まで自転車道を設置できないか。西海岸は起伏があまりないので車での移動より自転車での移動がしやすいように整備をすると良い。
町民が防災意識を高める取組を進めて欲しい。
国道58号のバイクの音量防音対策をしっかりやって欲しい。
桑江中学校をキャンプ桑江南側に移設してはどうか。災害対策を行う必要がある。
地域巡回において、米軍の子どもたちや高校生たちが夜8時頃にテトラポットにのぼっているところや、海岸で泳いでいるのを見かけた。非常に危険。フェンスや立て看板などを設置すべき。
動物と触れ合える広場や自然公園、遊具が充実している公園等を増やしてほしい。
公園に3歳未満の子が遊べる遊具コーナーがあると良いと思う。
環境・自然
上勢頭南公園のガジュマルの樹を業者が切り倒していった。地域の人達には思い出がある。緑化活動として疑問がある。空いた箇所に緑を復活させて欲しい。

緑を残して欲しい。自然を残したまちづくり。海にばかり目がいって、陸側の自然がおろそかにされていないか。
砂辺の浜はウミガメも産卵するほど綺麗な砂浜であるが、BBQを行っていたり、車輛を乗入れたりする光景がみられる。しっかり対応をして欲しい。
観光も自然も混在した、偏りのない町になって欲しい。緑を増やして、コンクリートジャングルを変えて欲しい。
人間の視覚、心に訴えるような花と緑の豊かなまちづくりに町をあげて取り組めないだろうか。道路沿いにきれいな花が咲いている市町村もある。
北側の国道沿いの返還地は、本土のある郊外の街道沿いの街を見ているような状態。北谷らしさが無くなっている。
北谷町に緑が無くなった。以前あった涼しい風が無くなった。ぜひ、緑を残した形で開発をお願いしたい。
教育・文化・スポーツ
教育のためのインターネット環境、Wi-Fi環境づくりが必要
外国の方も多いので、語学をもっと勉強出来るように環境を整備して欲しい。
子ども達の変化の激しい時代を強く生きていくために「学びの個別化」を進めて欲しい。
子の多様性を受け入れ、学校とはなんのためにあるのか、根本的な理由を再確認し、みんなが共有できる目標を設定してほしい。
補導件数は少なくなっているが、引きこもりが多くなっている。
夜遅くまでお店が開いているので、出歩く人が多くなる。小さい子が夜中に歩いているのを見かける。
校則を全廃したことによって自由な環境づくりに成功しているところがある。北谷町でもワクワクする学校づくりが出来れば引きこもりは減るのでは。
人材育成に力を入れ、育てた子ども達が町内で活躍できる、住み続けられる町にして欲しい。
人材育成について、どういった成果があったのかを知りたい。育成した人材を町で活用できる場所はつくれないか。
町の文化を残して欲しい。若者たちに地域のネットワークや活動をもっと大事にしてもらいたい。町として支援策を考えてほしい。
北谷城跡 ^{*9} を文化の町、城下町として魅力ある町にしていきたい。
伝統芸能 ^{*43} 、町指定文化財などに力を入れるべき。
伝統芸能 ^{*43} のエイサーを区、町で保存継承することが必要ではないか。
博物館の関連事業として、地域歴史ガイドが育成できないか。
スポーツ施設があっても地域振興に活かしていない。テニスコートは多数あるが、テニスのまちではない。町づくりにはスポーツの視点も必要である。
北谷町の海はサーフィンやダイビングのメッカであるが、町としてそれを活かしてきれていないように感じる。うまくいけば湘南のように盛り上がる。
スポーツ施設を充実させることでキャンプなどを誘致し活性化して欲しい。

地域のスポーツ少年団に外国人であることを理由に入部させてもらえないことがある。コミュニケーションが取れないとの理由だけで拒否するのは残念なので、町からもフォローできるようにしてほしい。

協働のまちづくり・行財政運営

住民登録のない居住者について、コミュニティの構築に課題がある。

住民同士の支え合いが課題であるため、この方策が必要である。

区域ごとの人口のバランスが悪い。行政区の見直しが必要ではないか。財政の問題もあるしやれることが限られてくる。

コンシェルジュ窓口の開設、ITの活用によるワンストップサービスを実施してもらいたい。

5Gの実証実験を北谷町でいち早く行うことが出来ないだろうか。若い人へのアピールにもなるし、新たな雇用も生まれるのでは。

「ニライ」の定義はこれからの未来を造る小・中学生から募集してみるのもいいと思う。子ども達に興味を持ってもらう良い機会になる。

町民一人が自分の頭で考え、声を上げていくこと、そしてそれを寛容する町のあり方が大切である。

情報発信（公報・HP等）の方法について再検討が必要では。高齢者はHPにたどり着けない。

公共施設の利用料がもう少し安くなると、個人でも借りやすくなる。



13 北谷町まちづくり町民会議報告書

1 子育て・教育・文化・スポーツ分野

強み

- 芸能好き エンタメがさかん
- 町民同士の仲が良い
- 北谷菜切 刀剣乱舞に追加された!!
- 多様性 (色々な地域から来た人がいる) インターナショナル
- 住みたい人は多い
- 海が見える・子どもに良い環境・小学校の近くに無料児童館
- 児童館が無料
- 公立公民館がある。・ビーチがある。・走っていて気持ちが良い!!
- 運動施設が身近にある
- 生涯スポーツ^{*44}運動人口の増加
- ちやとれは良い施設・公園が多い
- 砂辺の海はキレイ・ソフトコーラルは沖縄でトップクラス→町民は意外に知らない。教育の資源に!!
- 未調査の所が多いのが魅力

【特に強調された意見等】

- 多様性について焦点を当てて話すことが多い印象でした。
- 職員さんの一押しは児童館が無料であること、公民館があること、でした。

弱み

[北谷町の子どもと取り巻く大人について]

- 児童生徒の問題行動が多い!! (色々な場所から集まっているので、多様な意見が出るため、先生が困っている??)
- 元気がない感じがする (野球を教えている時に感じる) 原因：勝利至上主義??
- 規律が弱い→型にはめる教育
- 大人が多様性を受け入れられない
- 子どもにも大人にも学校で教えて欲しい!
- 型にはまった教育方針 (日本の課題)・高学歴だからいいわけではないのでは!?・県立高校のICT化は?!

[生活について]

- 土地や家賃が高くて住めない、難しい!!
- 子育て世代目線で…家賃が高い 土地が高い 駐車場が少ない
- 全体的には住みやすいまち だけど、子育てしにくい印象

[教育体制について]

- 人材不足 (ICT化による効率化をして、先生のあり方が変わりつつある…?)

- 家庭のネット環境がないことがある
- 子どもの声を聞いて欲しい！ 不登校児の受け入れ枠を広げて欲しい
- 「子どもの権利条約^{*75}」の周知

【スポーツについて】

- 生涯スポーツ^{*44}をもっと推進して欲しい・スケボー少年に指導者を 場所も
- 幅広く運動指導者ができるような施設、環境が整ってない
- 北谷高校が甲子園に出ないので良い選手が町外に出てしまっている!!

【施設について】

- 公立施設を営利目的で使えない
- 古くなった公民館を新しくして欲しい
- 青少年支援センターの利用拡大
- 学校の施設の改善 ・和式トイレ→洋式トイレ 子どもからの要望あり 議会だよりNo.100

【情報について】

- 待機児童 保育園のことがわからない

【特に強調された意見等】

- 当初、「子どもに問題行動が多い」と課題提起されましたが、徐々に、「問題行動が多いのではなく、多様な価値観を持った子どもに対応できていないのでは？」と変化していったのが特徴的でした。それを受け、大人に対する教育もあげられていました。

機会

- インターナショナルな環境
→子どもを自由に育てているので、色々な子がいる（良い面）
→教育者にとっては、難しいかも

【特に強調された意見等】

- こちらでも多様性があげられていました。個性の尊重や多様性の共生に焦点が当たっていました。

脅威

- 既に記載されている以上の意見はありませんでした

子育て支援の充実

【提言】

- 保育活フェア開催！
- 町内企業を優先した施策をもっと進めて欲しい

【特に強調された意見等】

- 子育て情報を自分の足で集めるのではなく、一か所に集まって聞きたい、というニーズがありました。

幼児・学校教育の充実

【提言】


- 学びの個別化（学習方針をある程度自由に選べるように!!）
- ネット環境（Wi-Fi）@家庭の充実
- 生きる力を育てる◎社会人になった後にしっかり生きる事ができるように!!
- キャリア教育*¹⁵¹
- 公園のブランコがなくなっているのが寂しい

【特に強調された意見等】

- 生きる力の醸成と、その為の環境整備について意見が多くありました。

青少年健全育成

【提言】

- 大人の学ぶ機会 教育制度などを知らない人が多い
- 発信 ちゃたんネル  YouTubeマーク
- 公民館でのお祭りなど…。イベントをSNSを使って発信する
- SNSの使い方講座!!
- 健診等のタイミングでSNSや多様性等を教育のポイント、わかりにくいことを発信する
- ちゃたんYouTubeチャンネルをつくってみては??色々な分野の情報を発信する
- YouTubeにこだわらず、動画で文化や情報を発信する
- 発信！・情報を取り入れる。・みんなを知って、みんなに広める

【特に強調された意見等】

- こちらでできた ちゃたんネル は、大人の学ぶ機会の提供というようなニュアンスでした。

生涯学習の振興

【提言】

- 公民館も儲けることができるように!!（使用料を取って使ってもらっては??）
- 公民館を活用した学習プログラムを増して欲しい
- 公民館の建て替え

【特に強調された意見等】

- 公民館が非営利でしか使えないことや、新たなプログラムを始めづらいことが課題として上がっていました。

生涯スポーツの推進

【提言】

- ドームは有料利用する団体を優先して入れて、収入を上げてはどうか?・スポ少などは空きに入れていく感じは??

- スポーツで生きがい!!
- サブグラウンドの管理に問題あり(北谷公園)・北谷公園の管理をもっと効率的に ・ 体育館を整備して欲しい 小さくてもいい! 客席を気にしない

文化財の保全と文化の振興

【提言】

- うがんじゅ(拝所)の学習ツアーも面白いのでは??
- 文化や素晴らしさを発信するYouTubeの設立
- 北谷の歴史めぐり発信*元々の北谷について知れる機会
- うちなあぐちをもっと広めて欲しい

【特に強調された意見等】

- 先ほどとは違い、町の魅力を発信するYouTubeチャンネルについて言及されていました。
- 北谷城跡*⁹などにも注目が集まっていました。

学びのまち・北谷

【提言】

- でーじちゃんな町
- 魅力ある町だが、もっと教育を充実させると人が増えるのでは??
- 教育の情報を発信する人を学校に1人専門で置いたらどうか??
- 次世代につなぐ豊かなまちづくり

【特に強調された意見等】

- 教育をし、次世代の社会を担う子どもたちにより良く暮らしてほしい。そういった意見が多く出ていました。

コンセプトの検討

- 多様性を自立するちから
- 個性の尊重 多様性の共存 自立する町民
- 新たな時代を力強く生きる
- 新たな時代を豊かに生きる
- 素晴らしいまち 北谷 チャタン ちゃたん
- (みんなの) ひとりひとりの心も体もたくましい町
- 楽しく 豊かに たくましい次世代をつくるまち
- Tough and kind

【特に強調された意見等】

- ここでも多様性が人気でした。あるいは個性の尊重など。
- 多様性の尊重や自立の先にあるのが、たくましく生きることだ、という話があり、次第に何ができる/もっている、というコンセプトより、どういう姿になるかというコンセプトに焦点が移っていきました。

分野の基本コンセプトの話し合い

コンセプトの検討でキーワードが出てくるものの、子育て・教育・文化・スポーツをまとめる言葉がなかなか見つかりませんでした

決定経過

- 「たくましく」という単語が人気でした。自立や自発的、健康、生きる力、などのニュアンスを含んでいます。
- 「豊か」は文化などについて言及しています。また、人として豊かな感性をもつ、といった意味もありました。

分野の基本コンセプト

たのしく ゆたかに たくましく 生きる

2 産業（商工業・観光・漁業・農業）等

強み

- アメリカ人が多く行き来している
- 外国 様々な国の外国の方がよく見られる。また、その飲食店がある
- 広い町営駐車場
- 観光・商工エリアと居住域が程良く住み分け
- 空港リムジン・高速バスの停車場有り
- 沖縄県内で唯一の観覧車
- 内地の方、本土の方も住みやすいという意見をよく聞く。比較的移住しやすい町
- ハロウィン・年末年始の集まりがすごい
- 花火
- 音楽 ライブが多い
- 約1500台の無料駐車場がある
- 宿泊施設が充実している
- 多言語に対応した町やお店
- SNS映えする観光スポット

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

強みと弱みは表裏一体。観光・商工エリアと居住域が程良く住み分けられている事も居住地域の発展の遅れととらえることもできる。また、中部圏域の事も考えて施策提言にしたい。

- ・弱みととらえる方もいるが私は強みと思う。強みと弱みは表裏一体。
- ・総合計画の集まりなので、中部圏域の事も何かなければと思う。
- ・いい意味でオーバーツーリズム^{*19}傾向でも生活圏が侵されることはなかった。
- ・商業施設も複数あり困ることはない。沖縄市はその点は弱く北谷は恵まれている。
- ・大きな駐車場があることは、活動拠点としての集客できる。

弱み

- 民間と行政の間の溝がある
- うみんちゅワーフがさみしい
- 北谷ブランドの認知度が低い
- 北谷町が外国人の犯罪が多い傾向がある
- 夜が暗い
- 美浜周辺の騒音 バイクなど…観光客のイメージ低下につながる
- アラハビーチの遊具や公共トイレの設備の老朽化
- 「北谷ブランド」の定義が定まらない
- レンタカーの危険な運転 ドライブマナー（訪日外国人の事故が多かった気がします）
- C-BUSのあり方
- 空きテナントの増加

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

弱みを強みに変える施策が重要。無理なものの施策（農業振興など）は別の施策ととらえることも必要ではないか。

- ・ 民間と行政の間の溝について：開けていない。アラハエリアは美浜に観光客を取られている。アラハ周辺（北谷・北前）では結構集客に困っているところがある。デイイベント（昼間のイベント）でアラハのステージの使用を申請したら弾かれた。歩み寄れたら沢山のことができる。
- ・ 北谷ブランドとして、農産物は難しい。農業を営んでいた場所が基地になってしまった。北谷町独自の物が無い。
 - ⇒ 施策の「生きがい農業の振興」は必要ないのでは？
 - ⇒ 生きがい。健康作りの場の場へ：市民農園の活用法を変える。
- ・ 漁業については、頑張っている方々をどの様にバックアップしていくかが課題。伝統漁業は継続したい。
- ・ 住んでいる人が犯罪を犯しているとは限らない。どこで起きているかが問題。
 - ⇒ 外国人が多いことを、強みに変えることによって北谷町の魅力は上がる。

機会

- メディアへの露出
- モビリティエリアの確立
- スケートボードの人口の多さ
- GoTo コロナによる国内観光客
- ・ リモートワーク^{*16} ・ ワークেশョン^{*17} ・ デュアルライフ
- 琉球キングス・FC琉球等のプロスポーツのホームに隣接
- 県内旅行（若者）→ 発信力
- 鉄軌道のルートは北谷を通る（？）

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

チャンスを如何にとらえて生かすか。周辺の脅威（他の自治体の設備など）を北谷町を起点とした人の流れにするかが重要。

- ・ 全国で住みやすい街1位になった（大東建託調査）ことが他県でもニュースになるなど、メディアに露出する機会が増えていること。
- ・ スケートボードの大会など県からの補助金を利用できないか。
- ・ マイクロツーリズムから回していく必要がある。
- ・ 人の流れをどう引き込むかは大きな柱になる。

脅威

- 物価上昇
- 人口減少のフェーズに突入
- オーバーツーリズム^{*19}への配慮

【特に強調された意見等】

ポストイットに記載されていない発言

国内・マイクロツーリズムの流れに乗るためにも、国内に対するブランディングが必要。

- ・人が増えたり、観光客が増えると物価が上がるので、住んでいる人にはしんどい。
- ・中国の観光客が多かったときは、イオンなど地元の住民が行き辛かった。
- ・短時間で大量購入など上客であった。地元の人には気後れしてしまう。その時はオーバーツーリズム^{*19}であるという感覚を持った。
- ・中華圏をターゲットにしたものが多かった。国内に対するブランディングができていない。

産業分野のまちづくりの課題と施策の展開方向

【特に強調された意見等】

- ①観光に軸足を置いて、水産業を振興する。農業は町民農園^{*57}の拡充など産業としてとらえるのではなく町民の健康づくり、生きがいの提供の場とする。農業に適した一等地は米軍基地になっている。
- ②スポーツと音楽の組み合わせ。毎週花火がみられるのは北谷町だけ。継続的にやる事。最初にやる事が大事。北谷町は観光客のリピート率高い。自然は1回観ると満足するが、体験型の物はリピートを生む。景観の維持も大切。
- ③コロナの影響でホテルを2～3か月のスパンで利用することが増えている。Wi-Fi環境は西海岸地域では民間による整備がなされているが、公共の施設にはない。物理的に人を動かす道路・鉄軌道と情報を動かす為のネットワークが必要。
- ④観光・商工エリアと居住域が程良く住み分けられている現状を居住エリアまで人を呼び込み産業振興を図るべきか。
- ⑤県内の他の自治体と同じことをするのではなく、広い視野で役割分担的に力を入れる。沖縄市のアリーナの集客は北谷町に宿泊客を呼ぶこととなる。移動のための道路整備が必要となる。
- ⑥観覧車は民間の物であるが、シンボリックなランドマークとなっている。美浜のメディアステーションに県内で一番大きなスタジオがあるが知られていない。映像を産業として活用できないか。
- ⑦歴史は作れないもの。遺跡・伝統芸能^{*43}など西海岸との対比となる活用を考える。
- ⑧サーフィンなど西海岸エリアで町民も簡単に体験できるようにすると住みやすさにつながる。

【提言】

商工業の振興

スケボーや音楽イベントの定期開催

モバイルWi-Fiの貸し出し

通信環境の整備

景観の維持

商工業の振興&水産業の振興

リモートワーク^{*16}による地方移住の増加

移動手段の整備

水産業の振興

養殖場を作る

生きがい農業の振興

広げる 増やす

産業としての農業から。生きがい。健康の場へ

跡地利用の推進

伊礼原遺跡^{*47}と北谷城跡^{*9} 観光教育

駐車場

就業者への支援

コワーキングスペースをつくる

ビジネスマッチングの機会を作る

転出・働き口確保のため、企業誘致

高齢者への就業支援も必要

情報提供

広報活動

グッジョブ

登録制度

コンセプトの検討

【特に強調された意見等】

- ①住みやすさと観光による発展は両立することが必要。住み辛くなっては嫌だ。
- ②今の成功を踏まえて新しいコンセプトにする。留まっていれば負けてしまう。
- ③「多様性」は入れたい。「アップグレード」は延長線上のイメージ。「創造」は新しいもの。
 - 住んでも訪れても素晴らしいまち
 - 理想的な観光都市
 - みらい輝く 成長し続けるまち
 - 絶えずアップグレードして行くまち
 - 向上心あふれる 挑戦し続ける町
 - 多様性に富みながら進み続けるまち 発展し続ける
 - 自然を感じエネルギッシュなまち
 - 多くの希望を背負い飛躍する町
 - 多様性と共に輝きつづけるまち
 - バランス
 - 観光の中心
 - 夢あふれる人が集い、発展するまち
 - アクティブに変化し続けるまち
 - オシャレで洗練された夢見るまち

古い 新しい

新しい「今」を創造していく町

多様性と共に新しい時（今）を創造するまち

分野の基本コンセプト

多様性と共に新しい今創造するまち

3 居住環境・道路・交通・土地利用・上下水・災害・消防・救急・防犯・交通安全・消費者保護・自然環境・景観の保全・循環型社会・環境衛生分野

強み

- 無人走行 車輛の推進 延伸
- 夜景きれい！
- おうちほしい人多い
- C-BUSを観光客にも利用してもらって、町全域を知ってもらう
- 海岸沿いをゆっくり、散歩できるルートが整備されている（歩きやすい、他の県内市町村よりは）
- 町の半分近くの基地が、これから使う計画の対象になる
- 雰囲気が良い
- 再生可能エネルギー^{*40}のポテンシャルある
- 西海岸側の観光施設×2
- 観光客が多くにぎやか（来訪者を引き付ける魅力がある）
- 密集してない 緑ある 景色もいい！
- 計画いっぱいある（実効性大切！）
- 衣食住等のことがすべて町内で足りる（買い物、楽しみ、医療）
- 自動運転の実証実験もできるまち
- 東側は閑静な住宅
- スーパーが多い（買い物しやすい環境）
- 海が近い アクセスいい ちゃんと北から南へ見える（潮風に当たりたい！当たれる！）

【特に強調された意見等】

- 東部と西海岸とでそれぞれの魅力があり、住みやすいと話されていました。
東部：適度にスーパーもあり、住むのに良い。高低差があり、西海岸の夜景がきれい。
西海岸：商業施設があり楽しい。観光地としてだけでなく、地元の人も行ける施設。
- 色々な要素を話す上で、観光に依存しすぎない自立した町なのではないか、という話しも出ました。
- 自動運転の実証実験なども積極的に実践できる・しようとする町の姿勢があり、柔軟な町なのではないか、という投げかけに対して、確かに、と町の姿勢について改めて納得もいただいたように感じました。

弱み

- 公園が老朽化していて利用できる遊具が少ない（計画的に修繕して欲しい）
- 基地内に入れない
- 低体重児の発症率が高い
- 色々なまちづくりの計画がある… 周知が課題！
- 漁港をもっと公共的な使い方ができないか（歩行者、自転車NW）
- 夜間徘徊する少年たちの夜の居場所がない（非行抑制）
- 北玉区の数百段の階段が米国人のレクリエーション施設化されてしまっていて、違法駐車が多い。付近住民が困っている

- 謝刈交差点の100%渋滞 環境問題
- 地域防災・防犯の一般町民の参画（みんなでやる必要・もちまわりするなど）
- 交通安全のための標識・表示の明確化及び英文化 消えかけ English 外人さん
- 美浜を車で通る時観光客が景色（観光）などに集中していて、車も行きかっているから車と人との距離が近くてトラブルにつながりかねない
- 公共交通ネットワークの充実・利便性の向上 一般の方も
- 町道×町道の渋滞がひどい（右折がない交差点が多い）
- 小学校の送迎渋滞が多い・（特に雨の日）
- 環境保全の具体的プランの可視化 見える化 わかりにくいからどれを？海道路 省エネ
- （コロナ前）レンタカーが多く開発と合わせて、レンタカーを抑制が必要では（バス、自動車の利活用）
- 学校前の送迎車の駐車での混み
- バス停に照明がない
- 自然と住宅が混在したまちづくり
- 深夜の飛行機？の騒音。
- 東西を結ぶ道路が少ない→交通渋滞→基地返還の促進。新たな道路整備
- 生活インフラの具体的整備計画の青写真が見えにくい（見える化してほしい）全体像 上下水道改修など、道路
- 地球温暖化防止実行計画に基づく具体的な取組 可視化
- 東側地域（高台）と西側地域（海側）が基地（キャンプ桑江）で分断されていて、役場前道路1本では少ない
- 空き屋ある
- Cバスのさらなる利用・活用
- 観光客含めた情報把握できていない
- 広報ちゃん手元に届かない（全戸配布？と思っていた）
- 美浜以外（住宅地）（謝刈から上）の街灯が少なく暗い
- 基地があるゆえの借地問題。*大きい土地借りる。亡くなる。家 あき家
- 観光客含めた避難計画とかない

【特に強調された意見等】

- 交通渋滞を起点に、自動車生活からの脱却についてなど環境問題にも広げてお話しが広がりました。基地の返還で東西道路が1本増えたが、3本しか道路がなく、東西道路の脆弱性を皆さんお話しされていました。
 渋滞①小学校への送り迎えによる学校周辺の駐停車による渋滞
 渋滞②南北の大きな渋滞。（南北の渋滞については、観光客のレンタカーが大きく関与）
 渋滞③南北と接続する東西道路の交差点あたり？
- 学校への送り迎えは原則ダメなはずが、逆に送り迎えがスタンダードになっていることが指摘され、歩いて楽しく通学できるような工夫（健康にもつながる）、バス利用のメリットなどを周知して、バス利用の促進を促すことで、環境負荷の少ないまちづくりにもつながるのではないか、基地返還は弱みを解消する機会になる、など話しが広がりました。

- 観光客が3万人程度、基地の人が5000人いる、というお話しで、観光客の正確な情報を把握できていない。津波等の災害時に、観光客を含めた防災視点が重要というお話しでもでした。
- 計画はたくさんあるが、結局、それらがどうなっていくのか、住民にはよくわからないので、1つのイメージとして具体的に見えるようにしてもらえると良いなどの話しも特徴的でした。

機会

- コロナの時は渋滞なかった！
- 環境変化による 考えるチャンス
- 美浜（陸上競技場前）にある風力発電
- 伊礼原遺跡^{*47}有効活用
- 博物館の設置計画
- + α で特徴あるまちづくり 誇りあるまちづくり うりをつくる!!
- コミュニティバスの普及進むと地球にやさしいかも！
- エコタウンの機運高まればチャンス
- 基地返還
- 町を電子化（電子マネー ペイペイ やってないからこそ!!）

【特に強調された意見等】

- 機会を利用して、町の目玉、特徴となるようなことができないか、などポジティブな意見が広くかわされた印象を受けます。
- 「特徴ある町づくり」をしていく必要があると、意見が色々出ました。
基地返還によって地域課題の克服、伊礼原遺跡^{*47}有効活用や、博物館の設置計画などそれらを起点としたまちづくり、環境に配慮したまちづくり（エコタウン）、観光客（国際化）も見据えて、町の電子化を進めるなど。

脅威

- 化学物質等による水質汚染（基地から）
- 交通事故のリスク、高いやも
- 琉球海溝地震及び周辺地域・国との起因とする津波リスク

【特に強調された意見等】

- 基地からの化学物質等による水質汚染（低体重児の発症が多いなどの要因？）について、皆さん、改めて衝撃を受けていらっしゃいました。しかし、排他的な感覚ではなく、ではどうしていくか、という前向きな姿勢で意見を言われていました。
- 大きな地震が想定されることを改めて認識し、地域が参画した防災への取組の必要性などが皆さんで話しをされていました。行政任せではなく、地域が一緒になって、参加・参画することが重要との意見でした。
基地の返還をプラスと捉え、その開発等を「弱み」（地域課題）の解消へつなげていけないか、いけるんではないかとポジティブで一つの課題に対して、一つの解決策ということではなく、複合的な横断的な考えを展開されていました。

全体

【提言】

- 無線 LINE 広報 専用ダイヤル活用 など情報発信・情報共有の多様なツールの必要性
- 人の集まる場を生かして参加・参画意識の醸成。（*参画推進。活動につなげていく前ステップ）
- LINEなどの情報発信ツールを有効活用。IT推進
- 高齢者を守るシステムが認知症の人には役に立ってない（防災？）設備の前の問題
- コロナで人こいしさ実感!!住民の参加・参画につなげる。チャンス
- スマート（スーパー）シティの実現

【特に強調された意見等】

- 各分野によらず、全体に必要なこととしてご意見がでました。
- IT化を推進し、LINEなどの情報発信ツールを有効活用して、様々な方法で情報発信・アクセスできるようにする必要があるのではないかというご意見がでました。（住民・観光客へ）
- 設備だけでなく、やはり人が集まり、情報交換できる場があることで、人がつながり、地域活動が広がっていくとの話しが多数出ていました。地域のことは地域の人が参加・参画することで、盛り上げていけるということを強調されており、住民自身も自立した町を目指しているというお話しでした。

居住環境の向上・町営住宅整備

【提言】

- 公園の整備 ←遊具なくてもよい。色々な公園（緑化）

【特に強調された意見等】

- 遊具はなくても、周辺との公園のすみわけで、ある公園、ない公園があってもいいのではないかと。（緑地でもいい）公園があることで住環境の向上につながる。子育て世代も喜ぶ。

道路・交通ネットワークの充実

【提言】

- 交差点にひさしを作る。+緑で作る。*歩くまちづくり（CO²減 渋滞解消 ↑車の転換）*緑化 景観推進
- 健康ポイント制（健康アプリ）*歩かせて渋滞解消
- 歩いて楽しいまちづくり*渋滞解消（素敵な標識づくり 道端ステッカー）
- 車線を増やす際、バスレーンにしてバスの優先度をあげ自家用車からの脱却*渋滞解消、CO²減、交差点の渋滞対策 町道の右折帯の設置等
- 基地跡地。（交通結接点パーク&ライド）

【特に強調された意見等】

- 車社会からの脱却などの視点からバスへの転換、歩くまちづくりへの転換について話しが広がりました。環境にもつながると複合的な話につながっていききました。歩くを想定したまちづくりでは、暑さを想定して、緑化でひさしをつくるなど、1つで複合的な要素をもつようにしたらいいのではないかと、との話になりました。

適切な土地利用の誘導

【提言】

- 適正な土地利用。東西の良さを生かすまちづくり チャンス!!
- 博物館を中心としたまちづくりR5（歴史文化発信）
- 住みやすい・にぎやか東西 魅力を生かしたまちづくり 両面があってよい!

【特に強調された意見等】

- 何か目玉を起点にしたまちづくりをして魅力を高めたり（シビックプライドの向上）、東西の双方のまちの良さを活かしていく事が重要との話しになりました。

上下水道の整備

【提言】

- 計画の見える化 生活インフラ

【特に強調された意見等】

- 計画はあるけれど、住民にはよくわからないので、どんな計画なのか、複数ある計画が重なるとどうなるのか、など見える化してほしいというような話しになりました。（共有・イメージしやすいといい）

災害対応・消防・救急

【提言】

- エリアメール多言語化
- 町民の方のサポート必要性→基地・学校と連携した避難訓練!
- 避難誘導を（150箇所）多言語つける。（R3やる。）Step 1 命の危険から逃げる
- 要配慮者含めた避難・救援を考える必要がある
- 観光客含めた避難訓練の実施

【特に強調された意見等】

- 観光客の方を含めて考える視点があり、皆さん、観光客の方を含め、色々とお話しをされていました。その際にも、行政だけでは限界があると思うので、住民がどれだけサポートできるのか、日ごろから色々想定して訓練等もしていく必要がある、などの積極的なご意見が出ていました。

防犯・交通安全

【提言】

- バス停のソーラーパネル照明を
- 照明つける（街灯）*ソーラーでとか
- 地域活動とのマッチングによる居場所づくり*徘徊若者対策
- ナイトパークで居場所づくり 見回りしちゃうとか。*若者徘徊
- 公民館を夜間も開いて居場所づくり。*徘徊若者対策
- 学校の前だけでも・交通規制・道路構造の工夫ランプをたくさん設置する

【特に強調された意見等】

- 安全面でいうと、暗い箇所があるとのことで、これらもただ、街灯をつける、ということではなくエコや防災上の観点からソーラーパネルの照明などの意見ができました。
- 若者の夜間徘徊も結構問題で、どう居場所づくりをしていくか、という話で地域の活動に参加させたり、既存施設を柔軟に開放し、地域の協力を得ながら運営することで、子供たち居場所づくり、安全を守れないか、とのお話しになりました。
- 徒歩通学の推奨

消費者保護**【提言】**

- 手法の検討 ①情報弱者②その他 情報共有方法 声かけ
- 情報弱者への情報提供

【特に強調された意見等】

- まずは情報をどのように消費者（特に高齢者などの情報弱者）に届けるかの手法を色々検討する必要があるとの話しになりました。ツールだけでなく、人と人のつながりでの情報共有は不可欠では、との話になりました。

自然環境・景観の保全**【提言】**

- まちなかのちょっとした緑化+モニュメント。点在するだけでも景観としてgood!!*景観向上*参画機会+住民参加 参画
- 無電柱化 美観
- 緑・木陰の整備
- 道路・交通ネットワークの施策と重複 1つづで2倍!!

【特に強調された意見等】

- 1つの課題に対して、1つの対策ではなく、複合的に解決していく事が良いのでは、という話しができました。緑化については、面的な整備だけでなく点在させることで町全体の景観づくりにもつながり、事業も大きなくてもすむのでやりやすいではないか、また、住民参加・参画のきっかけにもなり、集いの場づくりにも良いのではとの話になりました。
- 緑化は歩くまちづくりを想定した際に、日差しをさけるためにも有効で、景観・自然にも寄与し、とてもいいとお話しになりました。

循環型社会の形成**【提言】**

- エコタウンエリア設置して色々社会実験
- エコタウン構想（まちづくり）

【特に強調された意見等】

- SDGs、世界の気候変動もあり、環境問題については取り組んでいくべき。それをまちづくりの起点できないか、エリアを決めて、先進的に取り組んでいくのもいいのではないか、など自動運転の実証実験等を踏まえ、環境に対するチャレンジをしてもいいのではないか、というご意見もでした。

環境衛生の向上**【提言】**

- 町なか周辺の空家。みつけたり、困ったら相談できる体制ある。 どう活用するか
- スポーツごみひろい+BBQ+おまけ！ポイントインセンティブ
- ゴミ拾いのボランティアを学校に持ち掛ける。(出来たら景品付き)

【特に強調された意見等】

- 空き家の問題は、空き家自体の把握はできる（問題になるのは住宅地内）。基地の借地であることが問題でもあり、借主がいなくなり、放置される…誰が管理するのか追いきれないことがあることが問題とのことで、なかなか具体の案がでませんでした。みなでDIYなどできれば、それも集まる場となり、良いのではとご意見できました。
- ゴミ拾いなどをイベントとして開催し、観光客も含めて開催してもいいのではないかとのご意見もでした。これらも健康ポイントのように、点数化したりすると参加がより進むのではないかとのご意見でした。

【コンセプトの検討、分野の基本コンセプトの話し合い、決定経過、結論】

- 参画・参加・輪が広がる
- 住んでよし、訪れてよし。車に頼らなくても
- 海 sea エメラルド 色、色々
- やること大切
- つながる つなぐ
- “丸ごと” “みんな”観光客 多世代 内・外
- 老若男女が生き生きと（情報格差など小さくする）
- 先進都市
- 自然（緑・海）あふれる
- 誰もが（観光客忘れない）
- 再生 実験都市 スーパーシティ スマートシティ
- エコちゅらタウン
- 持続可能・サステイナブル・未来につなぐ
- まじゅん（一緒に）
- 快適な生活環境と未来へとはばたくエコタウン
- 若者も元気
- ちゅら！
- 緑あふれる（豊か）・自然あふれる（豊か）
- 民度が高い

- シビックプライド高い

現状、とても住みやすい町であること（東西のまちの魅力がある）、それに加えより一層の住民の参加・参画（一緒に）、というのと、みんな（観光客含めた老若男女）というのが軸としてあり、自然あふれる環境に配慮した町であることなどを盛り込みたいとの話しで進みました。

町の特徴を考えるに当たり、方言や色のイメージなども考え、単語・イメージからコンセプト等を出していきました。

【結論】

（みんな一緒に）まじゅん 未来につなぐ エコ美らタウン

【特に強調された意見等】

“みんな”を方言で表現、持続可能であること、エコであること、今まで受け継いできたこのまちを未来（若者たち）につないでいく、という想いを込めたいとのことで、この結論になりました。

…みんな一緒につくる、エコ、未来につなげる（持続可能、若者につなげていく）、美しい町

4 健康づくり・地域福祉・高齢者・障がい・生活困難者・社会保障分野

強み

- 各自治会に拠点となる公民館がある
- 美浜地区等多くの企業の地域貢献
- オーガニックショップがある。→健康活動につなげたい
- 社会問題やまちづくりへの意識の高い町民がいる
- 区長がとても関わりやすい人柄で色々な話ができる。
- 外国人の方が多いため、国際感覚が身につけやすい。(英語・中国語などなど)
- 美しい海がきれい！→これを利用した地域活動に →海で海外の方とも交流している
- 国保・後期高齢者医療 被保険者全員を人間ドック費用助成対象としている。
- 不要な学用品(制服、体操着等)を集めて必要な人に配っている
- 町民・町内皆さんやさしい
- 西海岸の夕日 そこに集う外国の方、子どもたち、若者、障がい者たちの心のふれあい、気遣いがある
- 高齢者が比較的少なく、医療費が他市町村より低い
- 福祉施設(介護)が利用しやすい。けど? →不要なサービスを受けている方もいる

【特に強調された意見等】

- 自然な助け合いや地域資源についてちゃんと把握したうえで話されたことが特徴的でした。特に北谷町の人に関する事、例えば社会問題やまちづくりへの意識の高い町民や外国人に関する事を強みと自覚している印象でした。

弱み

- 道が少なく、災害時の対応が難しい
- 自治会加入率の低下
- 地域交流を増やしたい。
- 地域での関わり方に差がある
- お隣、近所との交流が薄い
- 日常的なコミュニケーションの場の確保。緊急事態が起きた時の対応
- 予防接種(インフルエンザ)の無料化がない
- 観光業に力を入れすぎていて、他の産業が育っていない
- 緊急事態が起きた時の対応
- ひとり親世帯も多い
- 若い方々の福祉ボランティアの育成をして、その方々が活動できる仕組みができていない
- お金に頼らない(お互いに助け合い分かち合う)仕組み作り。
- 食に対する意識が低い
- PFAS (PFOS あるいは PFOA) による水質汚染から町民の健康を守る仕組みが欲しい
- 障がい者の方との関わり方を教育(学校の中から)変える。当たり前と共に学べる環境づくり

- 情報が入ってこない
- 感染症発生状況の情報公開
- ボランティア活動者の高齢化
- 地域に福祉の関わり方が必要である
- 検診受診者が毎年同じ方が受診している。未受診者の掘り起こし
- 子どもや高齢者、障がい者などすべての人が安心して安全に暮らせるまちづくり
- 行政と地域が集まれる福祉の拠点が必要
- 個人情報保護法案が壁となり、支援を必要とする人のことが、わかりにくい
- 高齢者の経験を次世代に継承できる仕組みが欲しい

【特に強調された意見等】

- 地域の実情を踏まえた弱みについて話されたことが特徴的でした。特に民生委員さんからの意見は的を射ている印象を受けました。
- 北谷町の行政的な情報が町民になかなか行き届いていないこともあるという意見もあり、町民への情報発信のあり方には課題があると感じ、またもったいないと感じました。

機会

- 町民が集まり、意見交換できる仕組み（できれば北谷町議会議員を含める）
- SNSを活用しての情報配信
- 保健センターの利用 ボランティアの育成
- 誰もが人権を守られる仕組み
- 公民館が個人で来ても、いつでも使用できるようにすると、集いの場所になるのでは。高齢者はおしゃべりをする事で、元気になると思う
- 自然栽培を多くの人を楽しめる仕組み（土をさわる）
- 教育現場での人権意識を高める仕組み

【特に強調された意見等】

- 人権に関する課題意識（弱みには記載していませんが）から機会として出された意見になると思います。
- 地域活動の中心を公民館にしていくという視点で公民館の意見は出ていたかと思います。
- SNSを活用しての情報発信は弱みで出された、北谷町の行政的な情報が町民になかなか行き届いていないという点の対応策につながるかと思いますので具体的な施策につながるかもしれません。

脅威

- 個人情報の一元化
- 引きこもり支援⇒顕在化した時は…!!
- 人口減少（地元・町民）
- 憲法で保障されている自由権を侵害されないか心配
- 脅威 福祉（行政）に頼りすぎてしまう⇒自分（家族）でがんばることも大切
- キャッシュレスの推進により、いつ、どこで、誰が、何のために、いくらお金を使ったのかをAI^{*11}で

一元的に把握される

- 8050問題になる前に隣り近所からの通報がない
- 救急車の利用をよく考えたからにしてほしい

【特に強調された意見等】

- 個人情報、憲法、キャッシュレスについては政府の政策が人権無視につながるのではないかと懸念でした。
- 引きこもり、8050問題が福祉分野の脅威として本質的なところにあたるかと思えます。
- 人口減少自体は北谷町の現状から必ずしも課題とは言いきれませんが、将来的にありえる課題と捉えた方がいいと思えます。

健康づくりの推進

【提言】

- カルフォルニア州における日本食品の売られ方参考にして食品を販売する
- 農薬、化学肥料、添加物、遺伝子組み換え、ゲノム編集による健康被害の周知
- 自然栽培の野菜の推進（←差額分を町が負担）
- 定期予防接種や健康検診など対象者に早めに知らせお知らせする。（ラインなど）
- 北谷町オーガニック タウン（オーガニックエリア）を作る ・農業に力を入れる
- ポイント制を導入して検診をする
- 北谷町食生活改善推進協議会 各公民館との交流を活動にして欲しい。 町民への情報
- PFASの水質汚染から町民を守る為、RO膜浄水器設置の助成金

【特に強調された意見等】

- 食の観点から根本的な健康づくりをしていくという視点の意見が多く上がった印象です（この辺りの意見は事前に考えてきた意見で、SWOTからの流れとは関係なく挙がっています）。
- 行政、地域活動の観点からはポイント制、北谷町食生活改善推進協議会は導入しやすい内容だと思います。

地域福祉の推進

【提言】

- 日々起こる小さな悩みや困りごとを区民同士の助け合いで解決
- 公民館で勉強会（子どもも集まれる）
- サバイバル術を教育で教える
- 楽しみながらボランティア育成
- 公民館に小さな図書館を作る（子ども向けの図書も）
- ホテル等の地域資源で災害時に対応する

【特に強調された意見等】

- 公民館を中心に子どもも含めた地域活動をしていくという視点で意見が出されました。
- 災害等の緊急時への対応という観点から、地域資源であるホテルの地域資源の活用、いざという時の

サバイバル術という提言がありました。

高齢者福祉の推進

【提言】

- 思い出ノートの活用（認知症予防）
- 保育所と老人施設を合わせ、双方の心にとって良い環境づくり
- 高齢者の方が講師となり、人生の学びや成功・失敗談などを次世代へ繋げる（知識など）
- コミュニティバスの改善（ルートの改善）
- 行政区を増やして高齢者が歩いて移動できるように

【特に強調された意見等】

- 高齢者を支えるという視点だけではなく、高齢者が生きがいを持って自立的に生きていける視点で意見が出されました。

障がい福祉の推進

【提言】

- 障がいに関する勉強会
- 障がいの有無に関わらず、当たり前で学べる環境づくり（差別の意識を子どもたちに植え付けない）
- コミュニティバスの改善（ルートの改善）

【特に強調された意見等】

- まずは障がいに関して知り、分け隔てなく交流していくという視点での意見が出されました。
- コミュニティバスの改善は高齢者と同様に自立的に生きていけるようにということだったと思います。

生活に困難を抱える人の支援

【提言】

- ホームレスを含め実数の把握。
- 廃棄予定の食べ物を公民館で配給
- 生活に困難な人への支援の正確な情報提供
- 空き物件を町営住宅^{*59}にして提供・フードスタンプ
- コミュニティバスの改善（ルートの改善）
- ベーシックインカム（地域通貨でもいい）
- ホテルやスーパーのフードロス支援に回す仕組みづくり

【特に強調された意見等】

- 生活困窮者が実数としてどれだけいるのかという疑問から実数把握の意見は出ました。
- 生活困窮者は食に困っている一方フードロスも北谷町内で存在し、ホテルやスーパーの前で支給することは難しいため公民館で実施してはどうかという意見が出ました。

社会保障制度の周知・相談

【提言】

- SNSの情報発信
- 定期予防接種や健康診断など対象者に早めにお知らせする（ラインなど）
- ワンストップ窓口の設置
- なんでも相談窓口を設置して適切な支援先に繋げる
- 行政、民生委員等が集まれる場所づくり

【特に強調された意見等】

- 機会で挙げたSNSの情報発信を提言としても活用し、ラインなどでも情報発信をという流れでした。
- とにかく相談先がわからない、分野横断的に福祉課題を解決するという観点から窓口設置の意見が挙げられました。

コンセプトの検討

- 自由・人権・安心・安全
- 誰もが安心して自由に望んだ人生を送れる
- 助けがすぐそばにあるまち
- 家族・家庭を大事に 福祉は足元から
- サポートの拡充
- ネットワークの強化
- 尊重 大切
- すべての個性を受け入れ尊重し、分かち合えるやさしいまち
- すべての人の個の輝きがつながり、生きる楽しみのあるやさしいまち
- 支え合いの心を育む
- 生きているのが面白いと感じるまち ・分かち合い、助け合い
- 色々な個の輝きがつながる 生きる楽しみのあるまち
- お年寄り、大学生、子どもたちが一緒に時間を過ごす場所 共に生きる場所をつくる

【特に強調された意見等】

- 「SWOT、施策提言を踏まえてキーワード単位で意見を出してほしい」と伝えたところ、上記の意見が出ました。人権や自由や個性にこだわりが強い人がいて、多くの意見が出ました。（福祉というより他分野に関わってくる内容なのでこの点はあまり深堀しないようにしました。）
- 「支え合い」や「分け隔てなく」というキーワードが出てくるものの、まとまりませんでした。

分野の基本コンセプトの話し合い

コンセプトの検討でキーワードが出てくるものの、短文でかつ的を射た良い表現というのがなかなか出でこず、煮詰まった感じがありました。文章としてまとめた意見もありましたが、ちょっと弱い意見となりました。

決定経過

残り数分で「あなたは」というワードは他分野でも重複せず使用できそう、また「北谷の宝」という表現と組み合わせると「分け隔てなく」という意味合いも出てくるため採用という経過になりました。

結論

あなたは北谷の宝です

5 平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営分野

強み

- 平和への意識↑
- 全部の行政区に公民館がある
- 女性の働く場所は多い
- 施設が揃っている
- 駐車場が多い
- 異文化交流ができる

【特に強調された意見等】

この分野は平和や基地に関するテーマが特徴であり、強みの意見でも特に平和や基地に関する意見が多かった。北谷町では、戦争や平和に関する講演会等を行うなど、子どもたちへの平和教育が盛んであり、平和への意識が高くなっている。また、基地のあるまちとのことで、基地内における異文化交流（部活でのスポーツ交流・フェスティバル等）ができるのではないか、そしてそれを強みにできないか等の意見があった。

また、男女共同参画に関して、女性の働く場所は比較的多い（観光のまちとしてのサービス業等）との意見があった。また、「出席簿は男が先で女が後」というのが男性上位との意識を植え付けかねないとのことから、「男女で区別しない出席名簿」を学校で導入しており、子どもの頃から男女共同参画の意識醸成を図っているのが強みであるとの意見があった。

弱み

- 基地周辺の交通渋滞
- 基地があるがゆえに事件・事故が多い
- 土地・家賃が高い
- 南国独自の怠けんぼー
- 本土と沖縄という意識がある
- 男女間のトラブル
- 治安に不安がある※アルコールの入った米軍の方に会うと怖い
- 景観が悪い
- 情報リテラシー
- 伝統芸能^{*43}が弱い（行政区関わらず、町全体でふれる機会が少ない）

【特に強調された意見等】

この分野では、「弱み」に関する意見が一番多かった。特に基地に関することでは、「強み」や「機会」よりも「弱み」に関する意見が多く出された。

基地周辺の交通渋滞が弱みとして意見が出された。北谷町では、県の基幹道路である国道58号が町を縦断しており、通勤時や帰宅時等は町の中央に位置する米軍基地関係者の通勤・帰宅の車両もあわせて慢性的な交通渋滞が発生している現状である。また、基地があるがゆえの事件・事故も多くなっている。特に挙げられたのが、男女間のトラブルであり、大きなニュースにはなっていないものもあるが、米軍関係者

と交際関係にある地元女性とのトラブル等の相談があるとのことである。基地や米軍はネガティブなイメージがあり、このようなトラブルがあっても被害者が相談しにくく、実態としては、このようなトラブルはもっと多いとの意見があった。さらには、基地と町を隔てているフェンスによる景観の悪さが、町の弱みであるとの意見があった。

人権尊重に関する意見で、「本土と沖縄という意識」の問題が挙げられた。沖縄では本土出身者を「ナイチャー（内地の人）」という言い方をする。特に差別をしているとの意識は現地の人はないというが、町の本土出身者は「区別されている」との意識を感じるという意見があった。この「本土と沖縄という意識」は町（ひいては沖縄県）の弱みであるとの意見であった。

男女共同参画に関する意見では、南国独自の怠けんぼー（なまけもの 特に男性）の問題が挙げられた。これは、町独自としてというよりは沖縄県全体の産業がサービス業に偏っており（第1次産業就業者割合 全国26位 第2次産業就業者割合 全国最下位 第3次産業就業者割合 全国2位 平成27年国勢調査）、また、島国であることから容易に他県へ働きに行くということが困難であるという特性上、一度失職すると再就職が難しいということから、安易に就職していない（または正規職員ではない）ことが「なまけもの」とすることは地域特性上断定することは適当でない場合もあると考えられる。

機会

- 異文化交流※学校などで外国語の先生とふれあう。
- 職業（基地内）
- 公営住宅
- 返還跡地の利用
- 高度医療を作る 観光も兼ねて来沖する方が増える
- ベースの中を自由に行き来する

【特に強調された意見等】

米軍基地（または基地関係者）を利用した機会づくりの意見が多かった。「強み」でも意見があった異文化交流や基地内における就職等である。米軍基地職員は、給与・手当、休暇制度、退職手当などから“準公務員”的といわれ、人気の高い就職先であり、英語やPCを使えても民間企業では受け皿がなく、就職できなくても、米軍基地でそのスキルを活かせる「機会」がつかれるのではないかと意見があった。また、返還跡地の利用について、商業地利用、住宅地利用等、意見があったが、キャンプ瑞慶覧には「北谷城跡*9」が含まれており、今後の整備次第では、観光資源として大きな「チャンス（機会）」があると考えられる。

そのほか、行財政運営分野関連では、高度（先進）医療に対応できる医療施設をまちにつくることにより、観光も兼ねて来沖する方が増えるのではないかと、との意見もあった。

脅威

- 家賃が高くて若い人達が住みづらい
- 国際情勢の影響を受ける
- 医療の発達→人を呼ぶ
- 住居がない
- 地元の人離れる方が多い

- 西と東の意識の差

【特に強調された意見等】

家賃が高くて若い人等が住みづらいとの意見があった。これには県内他市町村に加え、他県からの人口流入、米軍関係者の町への居住等が要因のひとつであると考えられる。町の人口は減少傾向である一方、世帯数は増加傾向であることが家賃の高さを反映しているといえる。

また、基地があることにより、国際情勢の影響を受けやすいことが「脅威」として挙げられた。2001年9月11日にアメリカのニューヨークで同時多発テロがあった際には、夜中でも戦闘機が飛行し、また、基地入口周辺では軍関係者による警戒体制などテロ対策強化が行われ、住民の生活に大きな影響が出た。

平和の推進

【提言】

- 異文化交流の機会
- 異文化多文化共生^{*31}

【特に強調された意見等】

部活動や学校の文化祭等での交流など、軍関係者などとの異文化交流の機会をつくる。そのことにより、基地があることを強みにし、交流により多文化の共生を図り、平和を推進する。

基地問題への対応

【提言】

- 外国人向けの相談窓口

【特に強調された意見等】

米軍関係者による事件・事故、特に男女間トラブル等は相談しにくい。基地問題に特化した相談窓口が必要である。

人権尊重の意識啓発

【提言】

- 情報収集・情報発信

【特に強調された意見等】

特に町内に住む県外出身者の情報収集、また情報発信が必要である。お互いの“区別されている”という意識を解消することが大切である。

協働

【提言】

- スポーツ交流

【特に強調された意見等】

住民と行政が一体となり、協働してまちづくりを行うことが必要である。協働の際には、スポーツ交流などについて米軍関係者も含めた取組ができれば良い。

行財政運営**【提言】**

- 地元割（家賃）
- 観光税導入

【特に強調された意見等】

地元住民への高騰する家賃対策として、家賃の地元割を行い、支援を行うことによって町外への人口流出を防ぐ。また、今後の行財政運営として、観光税の導入を検討して頂きたい。

コンセプトの検討

- 様々な出会い（異文化）
- 笑顔でふれあい、異文化交流で相互を認め合う個性あふれるまち
- 世界を学べる町（体験できる）
- 進化を愛するまち
- 多文化が交わり 個性あふれるまち
- 豊かな心 ふれあう街 平和なふるさと 北谷町
- 違いが交わるまち
- 経済豊かなまち
- 誰もが認められるまち
- 海の青さが好きだ 北谷の平和
- 共に認め合い 多文化が交わる 開かれたまち
- 尊重
- みんなで育む 北谷のみらい
- 誰一人として取り残さない
- みんな違って みんないい
- 笑顔
- 平等
- 己生 こせい
- ボーダーレス
- 認め合う
- やさしさあふれる 北谷のまち

【特に強調された意見等】

コンセプトを決めるにあたっては、キーワードを決めることを話し合った。コンセプトを見ただけで、この分野が「平和・基地・人権尊重・男女共同参画・協働・行財政運営」分野であることがわかるコンセプトとしたいとの意見が出た。平和や基地・人権・男女・協働などは特に様々な個性を連想させ、これが

「多文化を認め合う」とのキーワードとして皆意見が一致した。そして、基地がなくなった時（または有効活用できた時）、差別がなくなった時、男女の完全な平等が達成できた時、皆での協働が図られた時、平和が訪れるとのことで「平和」もキーワードとなった。

分野の基本コンセプト

笑顔でふれあい 多文化を認め合う 平和を愛するまち

用語解説 脚注番号比較表

注：用語解説は解説する用語のすぐ後ろに番号を付け、当該頁の下部に番号順に解説を入れています。
また、同じ用語が再度でてきた場合は、用語のすぐ後ろに*¹のように示しており、この印と数字は初出の解説の番号であることを表しています。

※一部、除外（体系図、表題、施策、関連する計画等）があります。

脚注番号	頁(最初)	用語	用語出現頁
1	1	新型コロナウイルス感染症	1、4、21、23、50、59、70、78、88、97、99、122、140、155、157
2	2	EBPM	2、20、136
3	3	マニフェスト	3
4	3	PDCAマネジメントシステム	3
5	5	パブリックコメント	5、130、143
6	6	幹線道路	6、38、93
7	6	北谷間切	6
8	7	世界水準の都市型オーシャンフロント・リゾート地	7、30、81
9	7	北谷城（跡）	7、24、30、42、85、124、125、161、166、171、188
10	13	駐留軍用地	13、30、37、84、85、86
11	14	AI	14、20、128、136、182
12	14	IoT	14、156
13	14	第四次産業革命（Society5.0）	14、16
14	14	フレックス勤務	14
15	14	テレワーク	14、36、50、78、159
16	14	リモートワーク	14、169、170
17	14	ワーケーション	14、76、169
18	14	国立社会保障・人口問題研究所	14、29、66
19	14	オーバーツーリズム	14、155、168、169、170
20	14	ウェルフェア	14
21	15	子どもの貧困	15、157、160
22	15	首里城	15
23	16	地域共生社会	16、34、64
24	16	ダブルケア	16

脚注番号	頁(最初)	用語	用語出現頁
25	16	地域包括ケアシステム	16、66、67
26	20	デジタル・ガバメント実行計画	20
27	20	スマート自治体	20、25、44、136、137
28	20	自治体デジタル・トランスフォーメーション(DX)推進計画	20
29	21	北谷町非核宣言	21、33、47、48、51、52
30	21	北谷町民平和の日	21、33、47、48、51、52
31	21	多文化共生	21、33、57、59、189
32	22	沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画	22、84
33	22	知の拠点	22、27、42、85、128
34	22	平均寿命	22
35	22	健康寿命	22、23、29、61
36	23	保育・教育の質の確保	23、41、111、112
37	23	重層的相談支援体制	23
38	23	自助・共助・公助	23
39	24	脱炭素社会	24、38、40、109
40	24	再生可能エネルギー	24、38、40、109、173
41	24	たくましく生きる力	24、41、115
42	24	子どもの居場所づくり	24
43	24	伝統芸能	24、42、74、125、161、170、187
44	24	生涯スポーツ	24、42、122、157、163、164
45	25	公営企業	25、39、97、140
46	27	アジア経済のダイナミズムを沖縄経済にビルトインすること	27
47	30	伊礼原遺跡	30、42、74、124、125、171、175
48	30	沖縄県が策定する「新たな振興計画」	30
49	33	ジェンダー平等	33、57、159
50	34	食育	34、62
51	34	食を意識できる社会環境の整備	34、62
52	34	すべての人が豊かな社会の果実を手にすることができる	34、64
53	34	民生委員・児童委員	34、64、65

脚注番号	頁(最初)	用 語	用語出現頁
54	36	選択可能性の高い産業の振興	36
55	36	労働生産性	36、78
56	36	つくり育てる漁業	36、80
57	37	町民農園	37、82、170
58	37	1億総活躍の理念	37、88
59	38	町営住宅	38、91、92、184
60	38	社会基盤	38、91
61	38	交通安全施設	38、93、94
62	38	バリアフリー化	38、93、122
63	38	公共交通機関	38、93
64	39	景観システム	39、95、96
65	39	公共用水域	39、97
66	39	防災拠点	39、100
67	40	自然生態系	40、106、107、109
68	40	親水性	40、106、107
69	40	循環型社会	40、109、110
70	40	省エネルギー活動	40、109
71	40	食品ロス	40、62、109
72	40	食品廃棄物	40、109
73	40	TNR活動（さくらねこ無料不妊手術事業）	40、109
74	41	わがまちに愛着と誇りが持てる地域に開かれた教育	41
75	41	子どもの権利条約	41、111、112、164
76	41	社会に開かれた教育課程	41、115
77	42	ライフステージ	42、62、122
78	42	町立博物館	42、124、125
79	42	民俗文化財	42、124、125
80	43	国が定める情報システムの最適化	43
81	44	情報通信格差是正	44、137
82	44	PPP / PFI	44
83	49	南海トラフ	49
84	49	町域の強靱化	49
85	49	防災・減災対策	49

脚注番号	頁(最初)	用語	用語出現頁
86	50	インバウンド	50
87	50	サプライチェーン	50
88	50	リーマンショック	50
89	53	嘉手納飛行場に関する三市町連絡協議会	53
90	53	日米地位協定の環境補足協定	53
91	53	住宅防音工事助成措置	53、54
92	59	山形県最上広域市町村圏	59
93	64	コミュニティ・ソーシャル・ワーカー	64
94	65	ユニバーサルデザイン	65
95	66	認知症施策推進大綱	66
96	66	地域プラン	66、134、135
97	69	地域生活支援拠点	69
98	69	児童発達支援センター	69
99	70	生活困窮者自立支援制度	70
100	74	エンターテイメント	74、76
101	74	スポーツ・ツーリズム	74、75
102	75	DMO	75
103	76	着地型観光プログラム	76
104	76	観光情報センター	76、77
105	76	シティドレッシング	76
106	77	北谷町観光危機管理計画（仮称）	77
107	79	ちやたんブランド認定制度	79
108	81	北谷町海業振興センター	81
109	84	沖縄県における駐留軍用地跡地の有効かつ適切な利用の推進に関する特別措置法	84
110	84	中南部都市圏駐留軍用地跡地利用広域構想	84
111	86	インキュベート施設	86
112	86	観光地形成促進地域	86
113	86	情報通信産業振興地域	86
114	89	ワークライフバランス	89
115	89	沖縄中部勤労者福祉サービスセンター	89
116	90	緑の基本計画	90、107
117	93	県道24号線バイパス整備事業	93

脚注番号	頁(最初)	用語	用語出現頁
118	93	地域公共交通計画	93、94
119	94	都市計画マスタープラン	94、95
120	95	用途地域	95、96
121	96	地区計画	96、156
122	99	北谷町地域防災計画	99、100
123	99	避難行動要支援者名簿	99
124	99	避難行動要支援者に関する全体計画	99
125	99	沖縄県観光危機管理基本計画	99
126	100	業務継続計画（BCP）	100
127	102	スクールゾーン	102、103
128	103	キッズゾーン	103
129	105	見守り新鮮情報	105
130	105	安心ゆいメール	105
131	111	小児救急電話相談#8000	111
132	112	要保護児童対策地域協議会	112
133	113	小1の壁	113
134	113	総合的な放課後対策	113
135	113	放課後児童クラブ	113、118、119
136	113	放課後子ども教室	113、118、119
137	114	GIGAスクール構想	114、116
138	115	教育課程特例校	115
139	115	就学援助制度	115、117
140	115	スクールロイヤー	115、117
141	116	沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトⅡ	116
142	118	スクールソーシャルワーカー	118、119
143	120	北谷町生涯学習人材バンク	120、121
144	120	電子書籍	120
145	120	ブックスタート事業	120
146	122	社会体育施設	122
147	124	うちなあ家	124、125
148	127	第3期教育振興基本計画	127
149	127	沖縄県教育振興基本計画	127

脚注番号	頁(最初)	用語	用語出現頁
150	127	北谷町学びのプロジェクト	127、128
151	128	キャリア教育	128、129、165
152	129	コミュニティスクール	128、129
153	131	ソーシャルビジネス	131、157
154	135	公民館主事	135、158
155	139	企業経営的な考え方や手法	139
156	139	地方公会計制度	139、141
157	139	公共施設マネジメント	139

第六次北谷町総合計画

令和4年3月

北谷町 総務部 企画財政課

〒904-0192 沖縄県中頭郡北谷町字桑江226番地

TEL : 098-936-1234

FAX : 098-936-7474

